

「はやぶさ」35 1号 2020年08月07日(金)

アフターコロナ時代の経営戦略

新刊「理念経営実戦のすすめ」予告・はやぶさ版

###free1###

###name### 様

◆コロナ対策で日々奮闘しております、医療従事者や行政等の関係者に心よりの感謝を捧げます。

◆コロナショックが、私達の日常生活や経済活動はもちろんの事、政治や行政に甚大な影響を与え、新しい価値体系と理念が求められていると観じています。100年に一度と云われてますが、明治維新以来(150年前)の時代変革が地球規模で起きていると感じていますが、どうでしょうか？
そうした時期に、私の知見と50年の経営支援の経験から、特に中小企業の経営の視座でどう考察すべきか、近未来はどう生きたらいいのかの私見を述べます。

◆「理念経営実戦のすすめ」は、アフターコロナの時代に合わせて27年ぶりに改訂したもので、経営者の皆さんに考働基準の参考となるよう「実戦」を中心にまとめました。10月にはお手許にお届けできる予定です。是非、ご高覧いただければ幸いです。

~~~~~

アフターコロナ時代の経営戦略(5回シリーズ)

新刊「理念経営実戦のすすめ」予告・はやぶさ版

「はやぶさ」35 1号 2020年08月07日(金)

【第1回】 本書をお読みいただきたい方・アフターコロナ時代の経営環境

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

・プロフィールは<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

目次に代えて情勢により追加・変更がありますことをご理解ください。

① #35 1・・・・・・200807・・・・・・今回掲載

本書をお読みいただきたい方・アフターコロナ時代の経営環境

② #35 2・・・・・・200821・・・・・・

ビジネスモデルの策定・統計データを読み解く力

③ #353・・・・・・200904・・・・・・

人間個人としての努力・・・自分の体のコントロール

④ #354・・・・・・200918・・・・・・

イノベーションが進行する時の経営指針・大成の条件

⑤ #355・・・・・・201002・・・・・・

理念経営の実戦・勇気と希望をもって・SDGs との関係

＊ ＊ 予告ですので変更することがありますので、悪しからずよろしくお願いします。

~~~~~本文~~~~~

## 1、本書をお読みいただきたい方・アフターコロナ時代の経営環境

＊本書は、意思決定や行動が周りや社会に大きな影響を与える、企業の経営者や管理者、組織の統括者やリーダー、経営支援家やビジネスブレン、ジャーナリスト、ヤングエグゼクティブ、行政機関や社会インフラ維持の執行責任者等の皆さんで、この混沌とした時代においても「やらねばならぬことがある＝使命」と心魂が騒ぐ方に読んでいただければ幸いです。

### ①アフターコロナ時代の経営環境

現在、人類は経験した事のない地球規模の難題に直面しております。新型コロナショックは近未来に対する不安を増長させて社会現象にもなっており、経済活動や政治体制にも大きなインパクトを与えており、イノベーションが進行しております。そのイノベーションの担い手は、従来の価値観や経験知から脱却した次世代の人達になるでしょう。

地球温暖化問題、エネルギー問題、特に日本では放射線量の問題。食料問題、水資源の問題、テロの多発と難民問題。戦争のリスクといつも隣り合わせの不安＝米中の対立は日本の将来に大きな影響をもたらすでしょう。そして予測されている天変地異の大災害等・・・・

私達は、こうしたマルチ災害の環境問題の中を、未来に危惧を觀しながら生きていかなければなりません。政治・経済等の事はそれぞれの為政者にお願いするとして、ここでは「中小企業経営」の視座でお話を進めます。とにかく「勇気と希望」を持って前進してまいりましょう！

#### ①企業の「進化・発展・持続」の条件は

(1)企業経営の原理原則を徹底的に身に付ける（体得する）

企業の目的と理念を理解し、何ゆえに我が社は存在し社会に貢献するか。経営資源（人・モノ・金・“しくみ”・情報）活かして経済活動を営むか。経営にメカニズムを瞬時に体が動くほどに体得して考働する。（大成の条件・経営者の器＝末尾に解説）

(2)インテリジェンスを発揮して、新ビジネスモデルを開発する（持続のための必要十分条件）

マーケットはスクラップ＆ビルド（S&B）され、あらゆるビジネス機構は陳腐化していく。その事に対する備えは、インテリジェンスの蓄積と有形無形の経営資源に対する先行投資を行い、革新と挑戦がなければ次世代(未来)には生き残れない。

(3)情熱と使命感を持つリーダー（統領）を育成する

順境の時も逆境の時も、集団を幸福化に導く「認識力と胆力」ある後継者を育成する。この事こそ最大の経営資源でありトップの経営課題であり仕事であります。

②もしも、この三つの条件を自社で備えられないならば、理念を共有できるネットワークに繋がって経営資源をシェアリングすることが、生き残り戦略となります。

アフターコロナでは、産業構造の変革が進み負の現象として倒産（廃業）が増え、非正規労働者へのしわ寄せが加速して失業者が増え、自殺者も増えて社会コストを必要となるでしょう。ソーシャルコストの点からも、新しいビジネスモデルの出現を期待する由縁であります。

＊大成の条件

「素直・自己責任・謙虚」・・・素直が全ての基本的姿勢です

＊リーダーの「器」とは

①先見性 ②予知能力 ③決断力 ④愛念 ですが、詳論は別の機会に譲ります。

そのリーダーの強化が災害を最小化し、回復を早めることになるのです。

つまり人材育成の教育事業なのです。

~~~~~

次回は #352号より通常の隔週・金曜日に戻りますので、よろしくお願いします。

5回シリーズ 第2回・ビジネスモデルの策定・統計データを読み解く力

をお送りいたします。

最後までお読みいただいて感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気でお会いしましょう！

＊＊お問い合わせ・質問は メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1legend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###